

# 平成27年度 事業報告書

社会福祉法人 敬仁会

鶴ヶ丘苑

かいふう

デイサービスセンター鶴ヶ丘

在宅介護支援センター鶴ヶ丘

居宅介護支援事業在宅介護支援センター鶴ヶ丘

ケアハウス鶴ヶ丘

## 目 次

本部	1
鶴ヶ丘苑	3
かいふう	18
デイサービスセンター鶴ヶ丘	29
在宅介護支援センター鶴ヶ丘	33
居宅介護支援事業在宅介護支援センター鶴ヶ丘	35
ケアハウス鶴ヶ丘	38

## 本 部

### 法令遵守と業務の適正遂行

- ・ 新採用職員研修を始め、施設連絡会議、職員会議を通じ法令遵守の徹底を図った。
- ・ 介護老人福祉施設（鶴ヶ丘苑）については、所定の介護保険自己点検表に基づき、再度現場及び事務で点検を行い万全を期した。

### 利用者の満足感の向上を図る。

- ・ 福祉サービス第三者評価基準による自己評価は行うことが出来なかったが、利用者への苦情窓口の周知、意見箱の確認、回答を要するものへの迅速な回答はきちんと行われていた。
- ・ 新しい形の自己評価の制定・実施は次年度となった。

### 法人経営情報の公表

- ・ 平成 27 年 4 月 1 日直接法人情報を公表するため、福祉 3 事業所にホームページ担当者を任命し、当法人の HP を作成、公開した。また、平成 27 年 6 月 21 日以降適宜各事業所ホームページ更新済みである。

### 防災対策の確立を図る。

- ・ 災害時マニュアル（鶴ヶ丘苑）による防災用品及び備蓄品の点検・整備に努めた。
- ・ 今年度は事例 DVD 鑑賞を 1 回行った。今後継続していく。
- ・ 年 2 回避難訓練時には、災害想定訓練をプラスして引き続き実施した。

### 地域社会福祉事業への取組と新規社会福祉事業の確保

- ・ リサイクルエコ活動は苑内職員全員で継続中。集まった分は、地域学校へ期中 2 回寄贈を行った。
- ・ 日赤の献血は年 2 回が定着してきた。
- ・ 地域行事には引き続き機会があるごとに継続参加していく。

### 《理事会開催状況》

	開催日	参加人数（理事 10 名 監事 2 名）	開催場所
第 1 回	平成 27 年 5 月 25 日	理事 8 名 監事 2 名	炉端焼居酒屋 水里園
第 2 回	平成 27 年 7 月 22 日	理事 8 名 監事 2 名	社団法人慈恵会 6 階会議室
第 3 回	平成 27 年 9 月 15 日	理事 10 名 監事 1 名	”
第 4 回	平成 27 年 11 月 9 日	理事 8 名 監事 2 名	”
第 5 回	平成 28 年 1 月 21 日	理事 9 名 監事 1 名	ホテル青森 3 階孔雀の間
第 6 回	平成 28 年 3 月 28 日	理事 9 名 監事 2 名	社団法人慈恵会 6 階会議室

### 《評議員会開催状況》

	開催日	参加人数（総数 21 名）	開催場所
第 1 回	平成 27 年 5 月 25 日	13 名	炉端焼居酒屋 水里園
第 2 回	平成 27 年 7 月 22 日	16 名	社団法人慈恵会 6 階会議室
第 3 回	平成 27 年 9 月 15 日	18 名	”
第 4 回	平成 27 年 11 月 9 日	16 名	”
第 5 回	平成 28 年 1 月 21 日	18 名	ホテル青森 3 階孔雀の間
第 6 回	平成 28 年 3 月 28 日	15 名	社団法人慈恵会 6 階会議室

## 鶴ヶ丘苑

- (1) 利用者、ご家族とのコミュニケーションを通じ、ご意見・ご要望を多く伺うことができ、各部署の連携及び業務の改善に繋がった。
- (2) 利用者の状態変化を速やかに嘱託医へ報告し、協力病院との連携の下、早期に対応し、利用者の安心に繋がった。
- (3) 言語聴覚士の評価を受け、利用者には最適な食事姿勢や食形態での提供に努めた。

### 《全体》

経営状態の認識共有化

稼働率・収支概況について、職員会議等で情報提供を行い、経営状態認識共有化に努めた。

### 《総務》

人事・労務管理の徹底

計画的有休を導入する事により、有休取得率の向上を図った。

職 員 構 成 表

H28.3.31 現在

職 種	常勤	非常勤		常勤	非常勤	職務内容
施 設 長	1		男 女	1		施設を管理統括する。
医 師 ( 嘱 託 )		1	男 女		1	施設内診療所を管理し、週2回利用者の診療をする。
事 務 長	1		男 女	1		事務部門の一切の業務を統括する。
看護介護部長	1		男 女	1		看護・介護部門の一切の業務を統括する。
生活相談員	1		男 女	1		利用者の心身の状況・置かれている状況の把握・必要な援助を行なう。
介護支援専門員 ( 兼 務 )	(7)		男 女	(2) (5)		施設サービス計画の作成。適切なサービスが利用できるように連絡調整を行う。
事 務 員	4		男 女	2 2		経理・総務等事務処理を行う。
機能訓練指導員	1		男 女	1		日常生活を営むのに必要な機能を改善し減退を防止するための訓練を行う。
看 護 職 員	3	1	男 女	3	1	利用者の健康保持。医師の指示に従い疾病者の看護等を行う。
介 護 職 員	39		男 女	17 22		個々の施設サービス計画書に基づき、介護サービスを提供する。
管 理 栄 養 士	1		男 女	1		献立作成・栄養摂取量の計算等や給食業務全般の管理に当たる。
そ の 他	3	1	男 女	3	1	清掃・営繕・燃料の管理・雑作業・宿直業務等を行う。
総 数	55	3	男 女	24 31	1 2	

### 《経理》

- ・会計顧問による月次監査を四半期ごとに実施した。
- ・収入稼働率、支出経費等、経営分析資料計数に基づき、施設連絡会議・職員会議等でコスト削減努力を要請した。
- ・水光熱費の削減を図るべく、LED照明器具設置による節電、ボイラーのタイマー設定及び床暖房の温度管理等のコスト削減努力により、燃料代・電気料は、合計では予算額を3年連続で下回った。

### 《管理》

非常災害に備えた体制の確立

- ・年2回の避難訓練、消防設備の点検を実施した。更に、訓練時には必ず防災時想定 of 訓練を追加実施した。

車両の効率的運用

- ・車両点検管理表の一部を改正し、点検・整備の充実を図った。
- ・安全運転ののぼり旗を掲げ、意識の高揚を図った。

経年に伴う保守管理立ち会い、チェックの励行

- ・安心・安全の確保のため、保守点検の管理と設備改修箇所の確認の励行に努めた。

## 施設管理実施状況

実施月	実施内容	
4月	ボイラー・貯水槽・貯湯槽清掃、消毒・点検	水質検査 害虫駆除 レジオネラ検査
5月		
6月	消防設備点検 避難訓練...総合訓練 自動ドア点検	ばい煙測定
7月		
8月		
9月	館内電気設備一斉点検	
10月	消防設備点検 避難訓練...夜間想定 床暖房・ボイラー・ポンプ点検	レジオネラ検査 害虫駆除 水質検査
11月		浄化槽法定検査
12月	非常発電機点検	ばい煙測定
1月	自動ドア点検	

毎月実施・・・浄化槽点検、電気設備点検

偶数月実施・・・害虫調査

## 《介護支援専門員》

要介護認定に係わる援助

- 要介護認定の有効期間に合わせ、介護保険の更新申請手続きを行い、介護保険被保険者証の管理を行った。  
市より依頼を受け、他施設利用者の認定調査を行った。当苑利用者の訪問調査依頼は、調査に立ち会い日常生活・健康状態等の説明を行った。

施設サービス計画書の作成

- 利用者の重度化に伴い、本人の意向を確認できないケースが多いため、入苑時や家族面会時に意向の確認を行うよう努めた。面会状況により家族へ確認できない場合や家族へ確認できても施設に任せるといった意向の場合は、本人に必要な課題やニーズを見つけ計画を作成した。計画作成後は評価を基に、定期的にモニタリングを実施、達成状況の把握に努めた。

## 《生活相談員》

リスクマネジメントの徹底

- 利用者の状態変化時はご家族へ早期にお伝えし、認識の相違によって不安、不信感を与えないよう各部署連携し対応した。介護事故発生時及び苦情、要望に対し、迅速に対応するとともに、申送り時や各種会議の際に、事故の状況やご家族の反応、意見を職員全体に周知し、意識の改善、再発防止に努めた。

地域貢献を意識したショートステイの展開

- より多くの方に当施設を利用して頂く事が地域貢献に繋がることを念頭に、定期的な利用者はもちろんのこと、ご家族の疾病等による緊急の受け入れ、長期入所者入院時のベッド活用（空床利用）を行った。

後進の育成（実習生受け入れ）

- 介護職希望者が減少しているため、年々養成校からの実習生も減少傾向である。その中で進路選択の一助になるべく介護及び看護職員と連携し、後進の育成及び実習生の指導に努めた。

入苑申込者に関わる援助

- 施設内を見ていただきながら、施設概要の説明を行っている。申込者の状態によっては、他施設を紹介した。申込書受付後は、関係施設、医療機関に出向き、状態を把握するとともに待機者の管理を行った。

## 利用者 在苑期間調

H28.3.31 現在

範囲 性別	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年以上	計
男	3	5	1	2	0	0	0	11
女	24	22	18	10	2	3	0	79
計	27	27	19	12	2	3	0	90

平均在苑期間		3年 4ヶ月
	男	2年 7ヶ月
	女	3年 5ヶ月
最長在苑期間	男	7年 5ヶ月
	女	18年 10ヶ月

### 利用者年齢階層調

平均年齢 84.5 歳  
 平均年齢 男子 79.3 歳 最高 94 歳 最低 57 歳  
 女子 85.2 歳 最高 100 歳 最低 62 歳

H28.3.31現在

年齢階層	性別人数		比率		計・人		比率	
	男・人	比 率	女・人	比 率	計・人	比 率	計・人	比 率
65歳未満	1	9.0	1	1.3	2	2.2	2	2.2
65～69歳	1	9.0	0	0.0	1	1.1	1	1.1
70～74歳	0	0.0	2	2.5	2	2.2	2	2.2
75～79歳	2	18.0	6	7.6	8	8.9	8	8.9
80～84歳	3	27.3	21	26.6	24	26.7	24	26.7
85～89歳	3	27.3	19	24.1	22	24.4	22	24.4
90～94歳	1	9.0	24	30.3	25	27.8	25	27.8
95～99歳	0	0.0	5	6.3	5	5.6	5	5.6
100歳以上	0	0.0	1	1.3	1	1.1	1	1.1
合 計	11 人	100 %	79 人	100 %	90 人	100 %	90 人	100 %

### 利用者介護度平均

H28.3.31現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
人数	0	1	7	33	49	4.44

### 施設利用状況

自H27.4.1～至H28.3.31

事項	市町村		青森	三沢	合計							
	入所人員	退所人員										
本 年 度 中	男	女	計	3	0	3	内 {	退所人員	28人			
								21	1	22	家庭内復帰	0人
											24	1
	6	0	6	長期入院	14人							
				21	1	22		死亡退所	13人			
	27	1	28						入院中	13人		
									2	0	2	施設内
				11	0	11						
	13	0	13									

### 面会状況調

自H27.4.1～至H28.3.31

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
413	470	388	494	581	500	430	434	455	493	408	481	5,547



## ショートステイ利用状況

自H27.4.1～至H28.3.31

### 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	27	27	25	29	25	24	24	27	21	24	20	22	295
理由	社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	私的	27	7	25	29	25	24	24	27	21	24	22	275
送迎回数	80	81	76	78	58	55	68	59	46	47	52	55	755

### 利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内訳	介護保険	269	283	266	270	265	265	282	285	288	292	272	3,349
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総利用延べ人数	269	283	266	270	265	265	282	285	288	292	272	312	3,349

### 平均利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均利用者数	9.0	9.1	8.9	8.7	8.5	8.8	9.1	9.5	9.3	9.4	9.7	10.1	9.2

### 《看護》

#### 感染予防対策強化

- ・ 利用者、職員の季節性インフルエンザ混合ワクチン予防接種を実施し、玄関にインフルエンザ予防のポスターを掲示した。
- ・ 面会者・各事業者等に入苑時マスクを着用していただき、予防を徹底したことで利用者の感染はなかった。
- ・ 3ヶ月に1回及び随時、感染予防対策委員会にて、その時期に流行る感染症の予防対策を周知徹底した。
- ・ 感染が予測されるときは速やかに感染予防対策を講じ、嘱託医への報告と早目の対応にて感染症の蔓延はなかった。
- ・ 他施設での感染症発生情報が速やかに得られるよう居宅、在介との連絡を密にし協力を得、当施設での対応を検討した。
- ・ 感染症対策研修への参加
- ・ 医療廃棄物の分別を実施
- ・ 年2回感染症の勉強会を実施した。

#### 健康づくり対策

- ・ 6月 利用者の結核健診実施(感染者なし)
- ・ 週2回・随時嘱託医が来苑し、健康管理を行っている。
- ・ 利用所の状態変化を嘱託医へ報告し、早期に対応、家族へ報告した。
- ・ 火曜日又は随時、歯科訪問診療を実施した。
- ・ 家族に代わり通院介助を実施
- ・ 毎食後の口腔ケアと協力病院よりS Tによる苑内研修と嚥下指導を受けて実践した結果、肺炎による入院が減少した。
- ・ 月1回の採血を実施。嘱託医に結果報告し、異常時の早期対応に努めた。

#### 看護知識・技術・質の向上に努め、利用者に添った看護サービスを提供する。

- ・ 外部研修や苑内の勉強会を通して知識の共有ができた。
- ・ 事業所内での会議やカンファレンスによる情報の共有化を行い、他職種との連携を図ることができた。

### 月別入院状況集計表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入院日数	6	110	0	142	0	131	6	158	53	132	56	141	51	134	68	85	12	171	0	177	12	117	0	118	264	1,616
合計	116		142		131		164		185		197		185		153		183		177		129		118		1,880	
入院人数	1	9	0	12	0	10	1	10	3	9	3	7	4	9	3	6	2	10	0	12	1	9	0	7	18	110
合計	10		12		10		11		12		10		13		9		12		12		10		7		128	

### 月別褥瘡処置集計表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置人数	0	1	1	2	1	2	1	0	0	2	2	3	15

月1回褥瘡委員会を開催。処置者の検証を行う。

### 結核検診結果報告

平成27年6月22日 利用者87名の胸部レントゲンを実施した。(3名入院中)  
精密検査を勧められた利用者の再検査を実施した結果、結核に感染している利用者はいなかった。

結核検診にて異常なし	77名
要精密検査者	10名
計	87名

要精密検査	異常なし	観察不要	7名
	他疾患あり	治療観察中	3名
	合計		10名

\*2名は検査前に退所

### 《個別機能訓練》

- ・ 月2回作業療法士による運動機能評価を受けた。
- ・ 週1回集団訓練対象者の訓練を行った。
- ・ 11月18日 全利用者を対象としたゲーム大会を実施した。
- ・ 安全で快適に過ごせるよう、作業療法士から車椅子のシーティングやベッド上のポジショニングの指導を受け、実施している。

## 《介護》

- ・利用者中心と思いながら、時間と業務に追われることが多かった。利用者の安心、安全、信頼獲得のため、心に余裕を持ち、笑顔でサービス提供し、職員同士で声掛けしていく。
- ・外部研修に参加し、個々の職員の知識向上に努めた。

### 1 班

- ・普段のその人を知る、理解するように関わり、変化を感じた時はそのままにせず、確認・報告することができていた。介助時の利用者の手足の位置や介助動作等で気を付け、事故防止に努めていく。
- ・短い時間でも1対1で関わる時間を大切にし、心地良い刺激を与えるように心掛けた。その人に合わせて、口調の強弱、早さなどを工夫し、わかりやすい声掛けをして、反応を引き出すことができた。

### 2 班

- ・利用者の声に耳を傾け、否定せず、何を行いたいのか確認し、行動を制限しないよう見守りを行ったが、見える残存機能だけで新たな機能の発見が不足していたため、職員間で声を掛け合い注意していく。
- ・援助時、少しの時間でも声掛けを行い、表情、仕草に気を配りながら相手の気持ちに寄り添う事ができた。一方、自ら訴えられない利用者との関わりが不足していたため、声掛けを多くし、表情や発語を引き出すよう関わっていく。
- ・ショート利用者では、余暇活動等で職員が間に入ることで利用者間での交流を深めることができた。長期利用者も余暇活動を通し、馴染みの利用者の名前を確認し合いながら、楽しみを共有することができた。

### 3 班

- ・利用者に安全な環境を提供できるよう、利用者ができることを見つけ、職員間での申し送りを通し周知に努めた。
- ・利用者の立場になって考え、気持ちに寄り添えるように関わることを心掛ける取組はできた。訴えができない利用者に対しては、日々の変化を職員間で申送り、状態を把握し、常にその時にあった対応に努めた。又、訴えができる利用者に対しては、要望に応える為、家族や他部署への報告を行うことで、その都度対応し、利用者が満足できるよう取り組むことに努めた。

## ADL 調査

H28.3.31 現在

認知症度		寝たきり度		
自立	0	ランクJ	1	0
	0		2	0
a	1	ランクA	1	0
b	7		2	0
a	41	ランクB	1	4
b	5		2	34
	29	ランクC	1	4
M	7		2	48
計	90	計		90

	入浴(洗身)	更衣動作	洗面	食事摂取	口腔清潔	起居	移乗	移動
自立	0	0	0	12	9	4	0	4
見守り	0	2	5	18	0	8	6	10
一部介助	6	18	42	25	36	7	12	5
全介助	84	70	43	35	45	71	72	71
計	90	90	90	90	90	90	90	90

入浴	
特浴	69
普通浴	6
ライナー浴	15
	90

排泄	
トイレ	7
おむつ/パルーン	2
おむつ	66
トイレ/おむつ	15
	90

### 《給食》

栄養ケアマネジメントの実施

- ・利用者一人ひとりの咀嚼・嚥下の状態や、アレルギー・服薬・嗜好等の情報を基に立てた栄養ケアプランによる、個人に合わせた食事内容での提供を行った。
- ・摂食状況を観察し、食事形態の適・不適のチェックを行い、他職種間と相談の上、形態変更を施行、現状最適な食事形態での栄養補給の希求を行った。
- ・定期的な体重測定の実行で、その変化や喫食率等による低栄養リスクのふり分けの上、プランの見直しを行った。

安全な食事の提供

- ・調理従事者の衛生管理点検を毎日、検便を月1回行い、異常がないことを確認した。
- ・作業前・後の使用水の点検、食材納品時の検品を行い、異常の有無を確認した。
- ・厨房内の害虫調査を2ヶ月毎に1回、害虫駆除を年2回実施した。
- ・食事変更時の配膳ミスを防止するため、朝のミーティングでの確認に加え、申し送りノートへの書き込みを徹底した。

日常生活の活性化

- ・誕生会食・行事食を実施し、季節感を感じ取れる献立とした。また、出来るだけ常食と刻み食の違いが少ないメニューにし、一体感を表すよう心掛けた。
- ・おかず毎の残量チェックを行い献立や味付けの参考とした。

非常食の確保と提供

- ・災害リスクに対応した事業継続のための対策として、災害直後の混乱時に全利用者が無理なく摂ることのできる流動食と飲料水3日分を備蓄転換方式により確保した。
- ・落ち着きを取り戻した頃に適応する災害食は、賞味期限前の消化と新規購入を行い維持した。

### 食 事 状 況

H28.3.31 現在

主食形態		副食形態	
米飯	6	常食	2
米飯 + 全粥	3	一口大	8
全粥	36	きざみ	21
ミキサー粥	4	超きざみ	13
ゼリー粥	13	ミキサー	11
		ゼリー	7
流動食	5	流動食	5
経管栄養	23	経管栄養	23
計	90	計	90

### 療 養 食 及 び 経 口 維 持・移 行 状 況

	糖尿病食	心臓病食	脂質異常症食	腎臓病食	経口維持	経口移行	計
4月	7	6 (1)	0	0 (1)	0	0	13 (2)
5月	7	5 (0)	0	0 (1)	0	0	12 (1)
6月	7	4 (0)	0	0 (1)	0	0	11 (1)
7月	7	4 (1)	0	0 (1)	0	0	11 (2)
8月	8	4 (0)	0	0 (1)	0	0	12 (1)
9月	8	4 (1)	0	0 (1)	0	0	12 (2)
10月	7	6 (1)	0	0 (1)	0	0	13 (2)
11月	7	6 (1)	0	0 (0)	0	0	13 (1)
12月	7	6 (0)	0	0 (0)	0	0	13 (0)
1月	8	6 (0)	0	0 (0)	0	0	14 (0)
2月	8	5 (0)	0	0 (0)	0	0	13 (0)
3月	8	5 (0)	0	0 (0)	0	0	13 (0)
計	89	61 (5)	0	0 (7)	0	0	150 (12)

( )はショートステイ利用者

## 行 事 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加人数(人)			
			利用者	ボランティア 他	家族	計
花見会	5月7日(水)	合浦公園 9:45~12:10	10			10
母の日	5月10日(日)	ホール 10:10~11:15	62(9)			71
新城中央小学校運動会	5月24日(日)	新城中央小学校 校庭 8:23~10:50	7			7
父の日	6月21日(日)	ホール 10:00~11:00	64(5)			69
夏祭り	7月12日(日)	中庭・ホール 11:00~13:50	88(9)	103	113	313
ねぶた観覧	8月3日(月)	市役所前 16:45~21:05	6			6
供養会	8月19日(水)	ホール 10:00~10:25	62(7)			69
開苑記念 ・敬老会	9月13日(日)	ホール 10:30~13:30	81(8)	40	94	223
十五夜	9月27日(日)	ホール 夕食時	68(9)			72
新城中央小学校学習発表会	10月10日(土)	新城中央小学校体育館 7:53~11:50	5			5
浅虫水族館	10月15日(木)	浅虫水族館 10:00~14:00	8			8
クリスマス会	12月22日(火)	ホール 10:30~11:05	83(9)			92
餅つき	12月30日(水)	ホール 10:20~11:00	58(8)			66
年越し	12月31日(水)	ホール 昼食時	66(7)			73
正月ゲーム 大会	1月2日(土)	ホール 10:00~11:00	68(10)			78
新年会	1月6日(水)	ホール 11:30~12:45	71(7)			78
節分	2月3日(水)	ホール 11:30~11:50	65(8)			73
ひなまつり	3月3日(木)	ホール 10:15~11:45	66(9)			75

4月・6月・8月・10月・12月・2月(各月4日)・・・ビデオ上映会(アルコープ)実施  
 5月・7月・9月・11月・1月・3月・・・大相撲星取戦実施  
 ( )内は短期入所利用者

## 各 班 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加 人数
1 班	9 月 15 日(火)	アスパム・青い海公園 10:05 ~ 11:40	3
2 班	5 月 20 日(水)	浪岡アップルヒル 9:40 ~ 11:25	3
	6 月 24 日(水)	ねぶたの家「ワ・ラッセ」 9:50 ~ 11:50	3
	7 月 22 日(水)	ほたて広場 9:55 ~ 12:07	3
	8 月 18 日(火)	田舎館田んぼアート 雨天のため中止	
	9 月 17 日(木)	新青森駅 10 : 00 ~ 11:40	3
3 班	6 月 17 日(火)	ねぶたの家「ワ・ラッセ」 9:55 ~ 11:30	3
	7 月 8 日(水)	青森観光物産館アスパム 夏祭りと近いため利用者の体調面を考慮し中止	
	8 月	三内丸山遺跡 暑いが続いたため利用者の体調面を考慮し中止	
	9 月 10 日(木)	田舎館村田んぼアート 10 : 00 ~ 13 : 15	3

## 職 員 研 修 状 況

研修主催	研修内容			参加職種内容							計	
	研修名	期日	日数	施設長	事務長	部長	相談員	事務員	看護職員	介護職員		栄養士
福祉と介護研究所	相談員のためのスキルアップ研修	自 H 27 . 5 . 12 至	1				1					1
県老人福祉協会	平成27年度 介護福祉士ファーストステップ研修	自 H 27 . 5 . 14 至 12 5	16							1		1
東青地区老福協	第1回 生活相談員会議	自 H 27 . 5 . 15 至	1				1					1
県老人福祉協会	相談業務に関わる研修	自 H 27 . 5 . 22 至	1				1					1
東青地区老福協	第1回 通常総会	自 H 27 . 5 . 29 至	1							1		1
県健康福祉部	平成27年度 認定調査従事者新任者研修	自 H 27 . 6 . 1 至	1							1		1
青森年金事務所	算定基礎研修会	自 H 27 . 6 . 16 至	1		1							1
県老人福祉協会	平成27年度 第1回青森県認知症介護実践研修	自 H 27 . 6 . 22 至 9 . 1	35							1		1
県立保健大学	平成27年 社会福祉施設職員経理研修	自 H 27 . 6 . 24 至	1					1				1
県介護支援専門員協会	平成27年度 介護支援専門員更新研修	自 H 27 . 7 . 1 至 8 . 25	8							1		1
市健康福祉部	社会福祉法人等説明会	自 H 27 . 7 . 6 至	1		1							1
県社協	平成27年度 介護支援専門員更新(実務未経験者向け)	自 H 27 . 7 . 7 至 8 . 28	7							1		1
県社協	平成27年度 介護機器・ロボット導入のための研修会	自 H 27 . 7 . 7 至	1							1		1
県運営適正化委員会	平成27年度 福祉サービス苦情解決関係者等研修会	自 H 27 . 7 . 14 至	1				1					1
東青地区老福協	平成27年度 第2回生活相談員会議	自 H 27 . 7 . 17 至	1				1					1
県立中央病院	医療連携部研修会 嚔下リハビリについて	自 H 27 . 7 . 21 至	1						1			1
青森労働局	ストレスチェック制度に係る説明会	自 H 27 . 7 . 23 至	1					1				1
県経営協	マイナンバー制度対策講座	自 H 27 . 7 . 27 至	1					1				1
介護労働安定センター	雇用管理改善啓発セミナー	自 H 27 . 7 . 30 至	1					1				1
県看護協会	平成27年度 看護師職能委員会 研修会	自 H 27 . 8 . 29 至	1						1			1
県社協	平成27年度職場内研修担当職員研修会	自 H 27 . 9 . 17 至 18	2							1		1
県社協	「10の研修テーマ」に係る研修会	自 H 27 . 9 . 24 至	1							1		1



研修主催	研修内容			参加職種内容								
	研修名	期日	日数	施設長	事務長	部長	相談員	事務員	看護職員	介護職員	栄養士	計
県老福協	雇用管理者研修 -介護の可能性&多様性-	自 H 27. 9. 25 至	1							1		1
県老福協	平成27年度第4回理事会	自 H 27. 9. 29 至	1	1								1
県社協	社会福祉施設職員キャリアパス 対応生涯研修(中堅)	自 H 27. 10. 1 至 2	2							1		1
県老福協	平成27年度 青森県 認知症介護実践研修会	自 H 27. 10. 5 至 12. 16	35							1		1
シルバーサービス 振興会	アセッサー集合講習	自 H 27. 10. 20 至	1							2		2
県社協	「10の研修テーマ」 に係る研修	自 H 27. 10. 29 至	1							1		1
東青地区 老福協	サービスから ホスピタリティへ	自 H 27. 11. 15 至	1							1		1
青森食品 衛生協会	「ノロウイルス食中毒の 予防と対策」講習会	自 H 27. 11. 17 至	1								1	1
県立 中央病院	医療連携部研修会 褥瘡予防から褥瘡のみ方まで	自 H 27. 11. 17 至	1						1			1
青森地域 防災協会	災害現場での活動内容及び生き 延びるための必要な物・技術	自 H 27. 11. 20 至	1					1				1
県 健康福祉部	平成27年度主治医研修	自 H 27. 11. 26 至	1						1			1
福祉 医療機構	平成27年度 特別養護老 人ホーム経営セミナー	自 H 27. 11. 27 至	1					1				1
県社協	福祉職員キャリアパス対応生涯 研修チームリーダーコース	自 H 27. 12. 3 至 4	2							1		1
青森労働 局	女性活躍推進法説明会	自 H 27. 12. 9 至	1					1				1
市 健康福祉部	平成27年度 認定調査 従事者現任研修	自 H 27. 12. 10 至	1				1			1		2
県 老福協	平成27年度 施設ケアマネの ためのケアプラン研修会	自 H 27. 12. 12 至	1							1		1
全国高齢者施 設看護師会	看取り期に望まれる 実際のケア	自 H 27. 12. 26 至	1						1			1
県社協	メンタルヘルス研修	自 H 28. 1. 15 至	1					1				1
お茶の水 ケアサービス	介護虐待を起さない ための基礎研修	自 H 28. 1. 29 至	1							1		1
県経営協	社会福祉法人 制度改革対応セミナー	自 H 28. 2. 17 至	1		1							1
介護労働 安定センター	雇用管理責任者講習	自 H 28. 2. 17 至	1					1				1
東青地区 老福協	施設長・事業所長会議	自 H 28. 2. 19 至	1		1							1

研修主催	研修内容			参加職種内容								
	研修名	期日	日数	施設長	事務長	部長	相談員	事務員	看護職員	介護職員	栄養士	計
市保健所	特定給食施設等研修会	自 H 28. 2. 22 至	1								1	1
市しょうがい者支援課	法人後見研修	自 H 28. 2. 23 至	1				1					1
県老福協	メンター(エルダー等)育成研修	自 H 28. 2. 25 至 26	2							1		1
県社協	福祉職員の福利厚生に係る事業説明会	自 H 28. 2. 26 至	1					1				1
県健康福祉部	原子力災害に係る避難先施設登録制度に関する説明会	自 H 28. 2. 29 至	1		1							1
県老福協	キャリアパス制度導入支援セミナー	自 H 28. 3. 3 至	1					1				1
県経営協	社会福祉法人種別学習会	自 H 28. 3. 3 至	1		1							1
市健康福祉部	平成27年度介護サービス事業者等集団指導	自 H 28. 3. 18 至	1				1	1				2
市市民政策部	平成27年度 第2回指定管理者研修会	自 H 28. 3. 25 至	1					1				1
東青地区老福協	平成27年度 第2回通常総会	自 H 28. 3. 28 至	1		1							1

### 社会福祉実習及び学習等受入状況

学 校 名	男	女	計	期 間
青森県立保健大学	1	3	4	7月8日
青森中央短期大学	1	0	1	10月8日～10月28日
青森明の星短期大学	0	1	1	9月1日～9月26日
東奥学園高校	2	2	4	6月15日～6月26日
	2	2	4	7月21日～8月7日
	1	2	3	8月18日～8月28日
	2	2	4	8月31日～9月16日
	1	2	3	10月21日～10月30日
	0	2	2	11月5日～11月11日
小 計	10	16	26	
団 体 名	男	女	計	期 間
介護労働安定センター	0	1	1	9月30日～10月1日
	0	1	1	10月6日～10月7日
青森県社会福祉協議会	0	1	1	10月5日
三幸福祉カレッジ	0	1	1	4月14日
	0	1	1	3月29日
青森県自治研修所	2	2	4	10月8日
	3	1	4	10月15日
	2	2	4	11月12日
小 計	7	10	17	
合 計	17	26	43	

### 平成27年度寄贈品・慰問の状況

自 H27.4.1～至 H28.3.31

	ご芳名	寄贈品		ご芳名	慰 問
27.5.8	中村生花店	フラワーアレンジメント	27.9.24	利用者様ご家族	民謡
27.9.15	日本たばこ産業	たばこ	27.10.14	日赤奉仕団 新城分団	歌・踊り
27.9.18	富士産業	入浴剤	27.12.3	しらかば保育園	おゆうぎ
27.12.17	青森県立 青森西高等学校	クリスマスカード			
27.12.21	富士産業	入浴剤			

## かいふう

- (1) 入居者及び家族との連携を密にし、入居者が安心して生活できるように配慮した。
- (2) 外部研修への積極的参加や施設内研修を実施し、職員のスキルアップに努めた。
- (3) 夏祭り等の行事を通じて、入居者と家族、地域の方々との交流を図った。

### 《全体》

平成27年度の入居状況の稼働率は、全体で98.75%、長期入所(50床)は99.96%、短期入所(10床)は92.80%であった。入院者については、平成26年度に比べ入院者が多く、入院日数が707日の増となった。

入居者の要介護度の重度化に伴い、転倒を事前に防止するために、職員が常に目配りを行いながら、安全強化に努めた。

また、入居者に気分転換をしてもらうため、夜越山森林公園の洋ランまつり及びねぶた祭を見学。他に、食事会等で季節感を味わう機会を多くとることが出来た。

### 《総務》

介護職員の入退社については問題なくスムーズに行う事が出来たが、看護職員については、募集に対しての応募がなく、ハローワーク、看護人材センター、有料紹介所(JOBメイト)に問い合わせ等働きかけるも難しい状態が続いている。青森慈恵会病院や青森敬仁会病院に協力を依頼し、出向職員として業務して頂いている。今後も看護職員採用に対して努力する。

## 職 員 構 成 表

H28.3.31現在

職 種	常勤	非常勤		常勤	非常勤	職務内容
施 設 長	1		男 女	1		施設を管理統括する。
医 師 ( 嘱 託 )		1	男 女		1	施設内診療所を管理し、週2回入居者の診療をする。
介護支援専門員	1		男 女	1		施設サービス計画の作成。適切なサービスが利用できるように連絡調整を行う。
生活相談員	1		男 女	1		入居者の心身の状況・置かれている状況の把握、必要な援助を行う。
事 務 員	4		男 女	2 2		経理・総務等事務処理を行う。
看 護 職 員	3	1	男 女	3	1	入居者の健康保持。医師の指示に従い疾病者の看護等を行う。
機能訓練指導員	1		男 女	1		日常生活を営むために必要な機能向上・減退防止のため、訓練を行う。
介 護 職 員	25	3	男 女	7 18	3	個々の施設サービス計画書に基づき、介護サービスを提供する。
管 理 栄 養 士	1		男 女	1		栄養ケアマネジメント、給食栄養量の算出等、給食業務全般の管理に当たる。
そ の 他	2	3	男 女	1 1	2 1	洗濯・営繕・燃料の管理・雑作業・宿直業務等を行う。
総 数	39	8	男 女	13 26	3 5	

## 《経理》

平成 25 年度の LED 照明器具への入替に加え、東日本大震災の電力不足に発足した節電意識から経費削減を心がけ、職員全員で不要時の消灯を積極的に実施する等、予算削減に努めた。また、予算計上した物品購入についても、計上時期と現状とを考慮にいれ再検討し、効率よく業務を実施することに努めた。

経年劣化による建物設備等の補修費も増大したが、上記対応により予算内で処理することが出来た。

## 《管理》

非常災害に備えた体制の確立

- ・ 消防・通報・避難訓練等を 5 月と 10 月に（年 2 回）実施した。
- ・ 消防設備点検委託業者により消防設備点検を 5 月と 10 月に 2 回実施した。
- ・ 自主点検は常に実施した。
- ・ 停電時などの緊急体制を見直し、連絡体制を確立した。

車輜管理

- ・ 福祉車及び軽乗用車で利用者の送迎を主体に使用した。なお、軽乗用車が経年により故障がちとなったため 1 台更新した。
- ・ 車輜使用にあたり、車輜毎に使用状況の記録簿を供えつけて記入し、効率よく使用した。
- ・ 安全運転を実施するため、運転する職員がアルコール感知器で毎回測定し、飲酒・酒気帯び運転等への注意を促し安全運転に努めた。
- ・ 交通安全期間中には交通安全のぼり旗を掲示し、全職員に安全運転への意識を高めた。

## 施 設 管 理 実 施 状 況

実施月	実 施 内 容
4 月	衛生害虫駆除
5 月	ボイラー点検 消防設備点検 避難訓練...総合訓練（日勤想定）
6 月	衛生害虫駆除（薬剤散布）
7 月	自動ドア点検
8 月	衛生害虫駆除 ばい煙濃度測定
9 月	ろ過装置点検
10 月	衛生害虫駆除 消防設備点検 避難訓練...総合訓練（夜間想定）
11 月	地下タンク点検 ポンプ点検 ボイラー点検 床暖点検
12 月	衛生害虫駆除（薬剤散布）
1 月	自動ドア点検 昇降機以外の建築設備の定期報告
2 月	衛生害虫駆除 ばい煙濃度点検
3 月	ろ過装置点検

毎月・・・レジオネラ検査、エレベーター点検、電機設備点検

### 《介護支援専門員》

入居者のQOLの向上を考慮したケアプランの作成

- ・概ね6か月毎にカンファレンスを開催した。また、概ね3か月毎にモニタリングを実施し、入居者及び家族の生活に対する意向・心身の状態やニーズを把握することでQOL向上を目指したケアプランを作成した。
- ・入居者との面談や家族との意見交換等を行う機会を積極的に設けることで、入居者の心身状況の変化や家族の環境変化等の把握に努めた。

### 《生活相談員》

入居者が家族や地域等との関わりを持ちながら、可能な限り本人の希望に沿った生活の支援。

- ・施設行事や慰問等を開催し、地域住民と関わりをもつ機会をつくる事ができた。
- ・入居者の意見や要望、家族からの情報を把握することで各部署と情報を共有し、可能な限り本人の希望に沿えるよう支援の方法を検討、実施した。  
在宅生活の継続支援。
- ・ショートステイでの生活が在宅での生活とできる限り近づけるように利用者からの要望や家族、担当ケアマネジャーからの情報をもとに支援した。
- ・家族や担当ケアマネジャーとの情報交換を密に行う事やサービス担当者会議への出席等により、支援方法を見直しすることができた。

### 施設利用状況調

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

事項	市町村		青森	五所川原市	むつ市	つがる市	平内町	野辺地町	合計	
	入居人員	男	女	計	男	女	計	男	女	
前年度末	入居人員	男	8	0	0	0	1	0	9	退居人員 12人 内 { 家庭内復帰 0人 他施設へ 0人 長期入院 12人 死亡退居 4人 入院中 4人 施設内 0人 死亡率 月平均 0.33人 定員50人に対する 年間 8%
		女	33	1	2	1	3	1	41	
		計	41	1	2	1	4	1	50	
本年度中	入居人員	男	2	0	0	0	2	0	4	
		女	10	0	0	1	1	0	12	
		計	12	0	0	1	3	0	16	
	退居人員	男	1	0	0	0	1	0	2	
		女	7	0	1	1	1	0	10	
		計	8	0	1	1	2	0	12	
死亡人員	男	1	0	0	0	0	0	1		
	女	3	0	0	0	0	0	3		
	計	4	0	0	0	0	0	4		
本年度末	入居人員	男	7	0	0	0	2	0	9	
		女	34	1	1	1	3	1	41	
		計	41	1	1	1	5	1	50	

### 面会状況調

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
422	468	385	446	513	462	438	452	478	376	383	441	5,264

### 利用者年齢階層調

平均年齢 84.9 歳  
 平均年齢 男子 78.2 歳 最高 85 歳 最低 65 歳  
 女子 86.4 歳 最高 100 歳 最低 70 歳

年齢階層	性別人数		比率		計・人		比率	
	男・人	女・人	比率	比率	計・人	比率	比率	
65歳未満	0	0	0	0	0	0	0	
65～69歳	1	0	11.0	0	2	4		
70～74歳	1	3	11.0	7.3	2	8		
75～79歳	3	1	33.5	2.4	4	8		
80～84歳	3	13	33.5	31.7	15	30		
85～89歳	1	11	11.0	26.8	12	22		
90～94歳	0	7	0	17.1	13	18		
95～99歳	0	5	0	12.2	2	10		
100歳以上	0	1	0	2.4	0	0		
合計	9 人	41 人	100 %	100 %	50 人	100 %		

### 利用者介護度平均

H28.3.31 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
人数	0	0	4	21	25	4.42

### ショートステイ利用状況

利用者数

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	14	18	17	19	16	18	17	17	16	15	15	17	199
理由	社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	私的	14	18	17	19	16	18	17	16	15	15	17	199
送迎回数	21	17	21	20	19	17	15	20	21	18	11	10	210

利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 介護保険	286	274	275	286	262	287	297	288	301	292	253	287	3,388
内 委託	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8
総利用延べ人数	286	274	275	286	270	287	297	288	301	292	253	287	3,396

平均利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日平均利用者数	9.5	8.8	9.2	9.2	8.7	9.6	9.6	9.6	9.7	9.4	8.7	9.3	9.3

## 《看護》

### 感染予防対策強化

- ・ 新入職員を対象に感染症についての講義、手洗いの実技を実施した。
- ・ 感染症発生時の対応の確認とマニュアルの見直しを行った。
- ・ 勉強会にてノロウイルス・インフルエンザ予防と発生時の対応を行い職員へ周知した。
- ・ インフルエンザ予防接種は、11月に入居者及び12月に職員実施し、感染予防に努めた。

### 健康管理対策

- ・ 9月に入居者の健康診断を実施した。
- ・ 週2回 嘱託医が来訪し、入居者の健康管理を行った。
- ・ 協力病院との連携を図り、入居者の状態に応じ、主治医へ状態報告し通院介助や必要な処置を実施した。

### 入居者の自立支援と生活機能の向上

- ・ 機能訓練指導員、介護職員、他職員や家族他と情報の共有をし自立支援、機能向上に取り組んだ。

## 月別入院状況集計表

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入院日数	7	9	51	27	14	107	20	74	20	100	30	68	28	64	14	16	22	97	9	166	7	48	29	40	251	816
合計	16		78		121		94		120		98		92		30		119		175		55		69		1067	
入院人数	2	1	2	2	2	5	2	3	1	7	1	3	1	3	1	2	1	6	1	7	1	5	1	2	16	46
合計	3		4		7		5		8		4		4		3		7		8		6		3		62	

## 月別褥瘡処置集計表

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置人数	20	25	16	18	16	22	23	26	29	21	28	27	271

## 健康診断結果報告

平成 27 年 9 月 1 日 ~ 9 月 17 日 入居者 52 名の胸部レントゲン、血液・尿検査を実施した。結核感染者はなし。(その期間の入院中 4 名は実施せず)

健康診断異常なし	50名
要精密検査者	2名

## 《機能訓練》

- ・ PTによる新規入居者の機能評価、1年に1度の再評価にもとづき、個別機能訓練計画書の作成と3ヶ月ごとの評価した。また、PTと連携を図り、機能訓練を実施した。
- ・ 月1回の集団訓練並びに年1回の運動会、年1回のレクリエーションを実施した。



## 《介護》

普通の生活

- ・個々に合わせた24時間シートの理解はされているが、一覧表の整備が不十分であった。
- ・業務マニュアルの見直しについて、出来た部分と出来ていない不十分な所があった。
- ・施設内研修を実施し、職員への周知に努めた。

## ADL 調査

H28.3.31 現在

認知症度		寝たきり度	
自立	0	ランクJ	0
	1		0
a	3	ランクA	0
b	3		2
a	22	ランクB	16
b	1		13
	20	ランクC	4
M	0		15
計	50	計	50

	入浴(洗身)	更衣動作	洗面	食事摂取	排泄	口腔清潔	起居	移乗	移動
自立	0	1	9	5	0	6	2	2	9
見守り	0	3	3	22	5	4	4	4	6
一部介助	11	15	17	5	5	16	10	10	3
全介助	39	31	21	18	40	24	34	34	32
計	50	50	50	50	50	50	50	50	50

入浴	
特浴	27
普通浴	1
個浴 随時	
ライナー浴	22
	50

排泄	
トイレ	4
おむつ	27
トイレ/おむつ	19
	50

## 給食

栄養ケア・マネジメントの実施。

- ・スクリーニングにより低栄養のリスク判定を行い、アセスメントにより個々の疾病、体格、咀嚼・嚥下状態、嗜好等及び問題点に対するケア方法を検討。これらを踏まえ栄養ケア計画書を作成した。
- ・他職種と協同し、入居者の状態に変化が見られる場合には、食形態等の変更を検討・実施し、個々の状態にあった食事を提供した。
- ・モニタリングにより提供内容等について評価を行い、食事の見直しを行った。  
安全な食事の提供。
- ・毎月、調理従事者の検便調査を実施し異常のないことを確認。  
また、衛生点検表に基づき、厨房の設備や器具、調理従事者、食材・料理等の衛生管理を実施し安全な食事の提供に努めた。
- ・調理従事者に対しては、職場内にて食中毒の勉強会を実施した他、季節毎に多発する食中毒に関する情報を提供し注意を喚起することにより食中毒の防止に努めた。
- ・ユニット内で調理を行う際の注意喚起や消毒の指導、ご家族への食品の持ち込みについての説明を実施した。  
非常食の確保と提供
- ・非常リスクに対応した事業継続のための対策として、利用者の食事形態に対応した非常食と飲料水3日分の確保を、賞味期限前の消費と新規購入を行い維持した。

ユニット食事会の実施

- ・各ユニットの担当者が入居者に希望の献立を伺い、それを基に管理栄養士が旬の食材を組

み込んで献立を作成し、当日調理を行うという方法で実施した。食事は3か月に1回の実施を目標にしていたが施設全体でまとめて実施することもあった。食事会以外でも、ユニット内で誕生会や行事の際にも、ユニットで調理を実施し楽しんでいただいた。

- ・ 料理は常食のみであるが、食べやすいように考慮した軟らかさ・大きさにし、摂取が困難と判断した場合、その場で刻んでその方にあった状態で提供することとした。また、ゼリー食の方にも摂取可能なものを提供して、食事会の雰囲気を感じていただいた。
- ・ 食事会では、普段はお粥やきざみ食の方でも、常食を問題なく摂取され、ユニット内で調理することで、いつもと違う雰囲気を感じていただくことができ、普段よりも食欲旺盛な方が多かった。今後も入居者の嗜好を普段からくみ取り、食事会を続けていく。

## 食 事 状 況

H28.3.31 現在

主食形態		副食形態		嚥下状態	
常食	17	常食	22	出来る	22
粥	19	きざみ	14	見守り	17
ミキサー	0	ミキサー	0	出来ない	11
ゼリー	3	ゼリー	3		
経管栄養	11	経管栄養	11		
計	50	計	50	計	50

経管栄養の種類: cz-hi, cz-hi 1.5, アイソカル2K

## 療養食及び経口維持・移行状況

自H27.4.1～至H28.3.31

	糖尿病食	心臓病食	肝臓病食	経口維持	経口移行	計
4月	4	0	0	0	0	4
5月	4	0	0	0	0	4
6月	4	0	0	0	0	4
7月	4	0	0	0	0	4
8月	4	0	0	0	0	4
9月	4	0	0	0	0	4
10月	5	0	0	0	0	5
11月	5	0	0	0	0	5
12月	5	0	0	0	0	5
1月	4	0	0	0	0	4
2月	5	0	0	0	0	5
3月	5	0	0	0	0	5
計	53	0	0	0	0	53

## 行 事・地 域 交 流

自 H27.4.1～至 H28.3.31

行 事	実施日	場 所	参加人数(人)		
			入居者	家族・地域	計
洋ランまつり	4月30日(木)	夜越山森林公園	2		2
夏祭り	7月26日(日)	多目的ホール	57	61	118
ねぶた祭観覧	8月3日(月)	青森市役所前	5		5
敬老会	9月13日(日)	多目的ホール	57	53	110
1階 クリスマス会	12月22日(火)	共同生活室	18		18
2階 クリスマス会	12月23日(水)	共同生活室	13		13
3階 クリスマス会	12月21日(金)	共同生活室	15		15
餅つき	12月24日(木)	多目的ホール	33		33
お正月行事	1月1日(金) ～1月5日(火)	各ユニット 共同生活室	42		42
節分	2月3日(水)	各ユニット 共同生活室	33		33
1F ひな祭り	3月3日(木)	共同生活室	20		20
2F ひな祭り	3月3日(木)	共同生活室	18		18
3階 ひな祭り	3月3日(木)	共同生活室	18		18

誕生日は個々に希望を聞きながら、ユニットで祝ったり、楽しみながら入居者が希望された過ごし方を提供することができた。

茶話会は、季節ごとに各ユニットで計画し、入居者と一緒に軽食、お菓子等を作り、入居者に会食を楽しんで頂いた。

平成27年度寄贈品・慰問の状況

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

	ご芳名	寄贈品		ご芳名	慰問
無し			H27. 9.13	山口流山口玄紹様	篠笛
			H27. 9.13	秀寿司様	握り寿司提供

外出参加状況

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

実施月	実施回数	参加人数(人)						
		あやとり	お手玉	紙ふうせん	おはじき	てまり	竹とんぼ	計
4月	3回				3			3
5月	4回	4						4
6月	2回			2				2
7月	6回	2			3		1	6
8月	7回		3			2	2	7
9月	0回							0
10月	3回			1	2			3
11月	0回							0
12月	0回							0
1月	0回							0
2月	0回							0
3月	0回							0

## 職 員 研 修 状 況

研修主催	研修内容				参加職種内容							
	研修名	期日	日数	施設長	事務次長	事務員	相談員	ケアマネ	看護職員	介護職員	栄養士	計
東青地区 老人福祉協会	第1回生活相談員会議	自 至	H28.5.11	1				1				1
青森県 老人福祉協会	第1回通常総会	自 至	H27.5.21	1	1							1
東青地区 老人福祉協会	第1回通常総会	自 至	H27.5.29	1	1			1				2
青森地域 広域消防事務局	危険物施設 安全推進講習会	自 至	H27.6.12	1			1					1
青森市健康福祉部 指導監査課	社会福祉法人制度等 説明会	自 至	H27.7.6	1		1						1
青森県 老人福祉協会	青森県老人福祉施設大会	自 至	H27.7.8 H27.7.9	2	1			1				2
青森県立保健大学 地域連携推進課	食の安全セミナー	自 至	H27.7.14	1							1	1
東青地区 老人福祉協会	第2回生活相談員会議	自 至	H27.7.17	1				1				1
青森労働局労働 基準部健康安全課	ストレスチェック 制度説明会	自 至	H27.7.23	1				1				1
青森県看護協会	看護診断を導く情報収 集・アセスメント(実践編) ～事例演習～研修会	自 至	H27.7.28	1					1			1
東青地区 老人福祉協会	施設長・事業所長会議	自 至	H27.7.30	1	1							1
青森県 老人福祉協会	認知症タイプ別研修会	自 至	H27.8.21	1						2		2
青森県立保健大学 地域連携推進課	中堅・指導的職員研修	自 至	H27.8.24 H27.9.7・8	1						1		1
青森県看護協会	事例で学ぶ 看護倫理研修会	自 至	H27.9.4	1					1			1

研修主催	研修内容				参加職種内容							
	研修名	期日	日数	施設長	事務次長	事務員	相談員	ケアマネ	看護職員	介護職員	栄養士	計
回復期リハビリテーション病棟協会	リハビリテーション・ケア合同研究大会	自 至	H27.9.30 H27.10.3	1					1			1
シルバーサービス振興会	アセッサー集合講習	自 至	H27.10.20	1						1		1
日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修 講義	自 至	H27.11.2 H27.11.4	1						1		1
青森県立中央病院	医療連携部研修会	自 至	H27.11.17	1					2			2
損保ジャパン 日本興亜	リスクマネジメント 研修会	自 至	H27.11.26	1				1				1
日本ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修 実地研修	自 至	H27.12.7 H27.12.11	1						1		1
青森県健康福祉部 高齢福祉保険課	認定調査従事者 現任者研修	自 至	H27.12.10	1				1				1
東青地区 老人福祉協会	第3回生活相談員会議	自 至	H28.1.22	1			1					1
青森市保健所	特定給食施設等研修会	自 至	H28.2.22	1							1	1
青森県健康福祉部 高齢福祉政策課	原子力災害に係る避難先 施設登録制度に関する説 明会	自 至	H28.2.29	1	1							1
青森県 老人福祉協会	第2回総会 並びにセミナー	自 至	H28.3.14	1				1				1
青森市健康福祉部 高齢介護保険課	介護サービス事業者等に 対する集団指導	自 至	H28.3.18	1				1				1
東青地区 老人福祉協会	第2回通常総会	自 至	H28.3.28	1	1		1					2

## デイサービスセンター鶴ヶ丘

個々の心身の状況に応じたサービス提供にて、生活機能向上を支援する。

- ・ ご利用者やそのご家族様より、自宅での様子や状況を連絡帳や毎日の送迎時などで、直接情報を交換、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからの訪問時の情報等も踏まえ、その時々の状態やニーズに合わせて必要なサービスを提供する事で日常の生活機能維持、向上に努めた。
- ・ 作業療法士と共に、実際の自宅での生活環境を主とした日常生活動作に考慮した機能訓練内容を計画、実施した事で在宅生活の維持に努めた。

月行事等の活動を通し、社会参加することで生活意欲を高める。

- ・ 季節に合わせた行事を企画、外出行事では外気に触れ、景色を眺めることで心身のリフレッシュを図り、意欲向上に努めた。
- ・ 買い物では、自ら見て選ぶ様子や支払の仕方を観察し、認知機能を確認できたことで日々の関わり方の参考となった。また、機能低下により日頃難しくなった「自分で選び購入する事」を通して、買い物の楽しさを改めて感じて頂く事ができた。
- ・ おやつ作りでは、時期のものやデイの畑で収穫した野菜を取り入れたおやつを企画し、各テーブルに職員を配置。管理栄養士の栄養指導も交えながら調理することで、多くの関心を持ち参加していただくことができた。
- ・ フラワーアレンジメント教室では、講師を招き、季節の花々を取り入れることで、利用者間での会話や、個々の気持ちを表現することができた。また、出来上がったアレンジメントは利用者宅に持ち帰って頂き、喜ぶ家族の顔を見て、さらに楽しみや喜び、意欲を持って参加された。

### 職員構成表

H28.3.31現在

職種	常勤	非常勤	兼務		常勤	非常勤	兼務	職務内容
所長			1	男 女			1	施設を管理統括する。
生活相談員	1		3	男 女	1		2 1	利用者の心身の状況・置かれている状況の把握・必要な援助を行なう。
看護職員		1	3	男 女		1	3	利用者の健康管理を行う。
機能訓練指導員	1			男 女	1			機能訓練計画書を作成、計画に基づき訓練を行い、状態を評価する。
介護職員	5		2	男 女	1 2		2	通所介護計画書に基づき、介護サービスを提供する。
総数	7	1	9	男 女	1 4	0 3	4 5	

**職 員 研 修 状 況**      自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

研修主催	研修内容			生活 相談員	介 護 職 員	機 能 訓 練	看 護 職 員	計
	研修名	期日	日 数					
お茶の水ケア サービス学院	生活相談員 スキルアップ研修会	自 H 27 . 5 . 12 至	1	1				1
県老福協	認知症介護実践者研修	自 H 27 . 7 . 14 至 9 . 30	2 6		1			1
県老福協	認知症タイプ別研修会	自 H 27 . 8 . 21 至	1		1			1
県社協	通所サービスにおける コミュニケーション技法	自 H 27 . 8 . 24 至 . 25	2		1			1
県社協	職場内研修担当者研修会	自 H 27 . 9 . 17 至 18	2	1				1
お茶の水ケア サービス学院	認知症のBPSD改善に 資する研修会	自 H 27 . 11 . 12 至 13	2		1			1
県経営協	コーチング特別講座	自 H 27 . 11 . 13 至	1		1			1
お茶の水ケア サービス学院	生活相談員 スキルアップ研修会	自 H 28 . 1 . 19 至	1	1				1
全国老人福祉 施設協議会	平成27年度東北ブロック デイサービス研修会	自 H 28 . 1 . 29 至	1		1			1



### 月 行 事 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加人数(人)
春祭り	4月8日(水)～10日(金)	デイホール 13:15～14:30	104
平和公園散策	5月11日(月)～13日(水)	平和公園 13:15～15:00	55
買い物 (道の駅あるじゃ)	6月24日(水)～26日(金)	道の駅あるじゃ 13:15～15:00	62
夏祭り	7月13日(月)～15日(水)	デイホール 13:15～14:20	98
買い物 (ゆ～さ浅虫)	8月26日(水)～28日(金)	道の駅ゆ～さ浅虫 13:15～15:00	54
敬老会	9月21日(月)～23日(水)	デイホール 13:15～14:30	90
紅葉ツアー	10月21日(水)～23日(金)	萱野高原 13:15～15:00	56
浪岡アップルヒル	11月9日(月)～11日(水)	浪岡アップルヒル 13:00～15:10	55
クリスマス会	12月23日(水)～25日(金)	デイホール 13:20～14:15	76
新年会	1月11日(月)～13日(水)	デイホール 13:20～14:30	94
節 分	2月 3日(水)～ 5日(金)	デイホール 13:20～14:30	94
ひな祭り	3月 2日(水)～ 4日(金)	デイホール 13:20～14:30	78

### お や つ 作 り 実 施 状 況

実施日		参加人数(人)	実施日		参加人数(人)
4月15日(水) 16日(木)	どら焼き	59	10月13日(火) 14日(水)	さつまいものおはぎ風	66
5月19日(火) 20日(水)	苺のケーキ	57	11月24日(火) 25日(水)	らくちん肉まん	56
6月15日(火) 16日(水)	豆腐入りみたらし・ ずんだ団子	65			
7月23日(木) 24日(金)	パーティーピザ	56	1月28日(木) 29日(金)	梅が枝餅	57
8月10日(水) 11日(木)	ジャガイモ餅	59	2月15日(月) 16日(火)	チョコパサケ	56
9月24日(木) 25日(金)	小豆きんつば	53	3月14日(月) 15日(火)	桜餅	57

### 月別人員等実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
活動日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27	311	25.9
要介護1	(実人数)	23	26	25	26	25	24	29	28	28	29	27	318	27
	(延人員)	198	205	219	217	202	181	194	206	222	199	218	2,492	207.6
要介護2	(実人数)	22	23	23	26	27	27	26	25	22	24	23	291	24.2
	(延人員)	186	198	205	241	223	252	267	235	242	202	209	2,693	224.4
要介護3	(実人数)	16	14	14	15	15	15	13	12	11	10	8	152	12.6
	(延人員)	200	167	156	166	129	139	131	83	91	71	84	1,500	125
要介護4	(実人数)	7	7	6	6	6	6	7	7	8	7	6	77	6.4
	(延人員)	39	36	31	52	34	46	47	51	55	43	42	505	42
要介護5	(実人数)	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	39	3.2
	(延人員)	33	24	22	25	21	24	23	20	24	21	22	288	24
暫定・保留	(実人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(延人員)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	(実人数)	72	73	71	76	76	75	78	75	72	72	69	877	72.9
	(延人員)	656	630	633	701	609	642	662	595	634	536	575	7,478	623
要支援1	(実人数)	5	5	5	4	5	3	3	3	3	3	3	45	3.7
	(延人員)	18	20	20	17	18	12	11	11	12	10	11	173	14.4
要支援2	(実人数)	14	13	13	11	12	14	13	13	12	12	13	152	12.6
	(延人員)	118	93	99	84	77	91	104	94	92	84	84	1,115	92.9
小計	(実人数)	19	18	18	15	17	17	16	16	15	15	16	197	16
	(延人員)	136	113	119	101	95	103	115	105	104	94	95	1,288	107.3
合計	(実人数)	91	91	89	91	93	92	94	91	87	87	85	1,074	89.2
	(延人員)	792	743	752	802	704	745	777	700	738	630	670	8,766	730

### サービス提供内容(介護保険分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入浴	646	620	631	697	613	643	666	575	612	524	559	579
個別機能訓練	404	384	572	595	483	483	542	454	491	410	485	487
新規登録者	5	0	6	4	0	0	2	1	0	1	0	2
終了者	4	2	1	1	3	1	1	5	1	2	0	6

## 在宅介護支援センター鶴ヶ丘

地域包括支援センター及び各関係機関との連携

- ・ 地域包括支援センターのランチとして、包括との連携を図り、同行訪問や報告・相談を密に行ってきたが、今年度は縁側事業への顔出しが不十分であったと反省している。今後も報告・連絡・相談を忘れずに地域に密着したセンターでありたいと思う。

介護予防教室の開催

- ・ 今年度は、材料費徴収タイプの教室を開催。賛否が分かれる結果となった。お金が掛るため、本当に興味を持ってくれた方が参加してくださると同時に、内容に納得がいかなければ苦情につながることを勉強した年であった。今回の経験を今後に活かして、参加したい教室を目指したい。

### 職員構成表

H28.3.31現在

職種	常勤	兼務		常勤	兼務	職務内容
所長		1	男 女		1	事業所を管理統括する。
介護支援専門員		1	男 女		1	地域の関連機関との連絡調整及びサービス申請代行業務
総数	0	2	男 女	0 0	0 2	

#### 1.相談方法別件数

	電話	来所	訪問	計
件数	44	1	12	57

#### 2.相談時間帯

相談時間帯	営業時間内	57
	時間外	0
	計	57

#### 3.申請代行数

申請代行数	10件
-------	-----

## 4. 相談内容別件数

(地域包括支援センターへの月別報告内容に準ずる。)

総合相談支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談内容														
介護	介護サービスへの相談・苦情	2	3	3	5	0	7	1	0	0	9	2	6	38
	介護サービス情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	介護保険外サービス	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	2	1	10
健康・ 介護予防	介護予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	健康相談	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
小計		3	4	4	5	1	7	3	0	2	10	5	7	51
権利擁護 事業	権利擁護事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金銭問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	6
小計		2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	6
合計		5	4	5	5	1	7	3	0	2	13	5	7	57

## 5. 青森市一般高齢者介護予防事業（介護予防教室）開催状況

開催日	内容	場所	参加人数
H27.6.11(木) 10:00~12:00	チャレンジ・ロコトレ	西部市民センター 3階多目的ホール	68名
H27.7.9(木) 10:00~12:00	仏花用 造花アレンジメント教室	西部市民センター 3階多目的ホール	2名
H27.10.15(木) 10:00~12:30	ハンドケア～きれいな手でのいる為に～	西部市民センター 3階多目的ホール	42名
H27.11.12(木) 10:00~11:30	笑いのヨガ～笑いの健康パワー～	西部市民センター 3階多目的ホール	52名

・今年度は自己負担が掛るタイプの予防教室を実施。賛否が分かれる結果となり、材料費としても金銭が掛るものに関しては、内容や対応に十分注意が必要だと感じた。

## 6. 職員研修参加状況

月日	主催	研修名
27年6月9日	青森県地域包括 在宅介護支援センター協議会	青森地域包括・在宅介護支援センター協議会 通常総会及び会委員研修会の開催について 平成27年度 会員 研修会

## 居宅介護支援事業 在宅介護支援センター鶴ヶ丘

### ケアマネジメントの質の向上

事業所内のカンファレンスや勉強会、外部の研修等により、意識・援助技術とも向上がみられ、利用者のニーズに応じた相談・援助に努める事ができた。

今後も介護保険以外の医療・福祉・社会制度等のサービス、制度の活用を図り、関係機関との連絡調整を行い、ケアプラン作成を実施していきたい。

### 利用者や家族との信頼関係の構築

個々の介護支援専門員の利用者の大きな状態変化は、報告・連絡をこまめに行うことで担当者以外でも対応できる体制を継続できた。

今後もサービス提供に当たっての留意事項に係る申し送りや検討会等を定期的に行い、新規利用者や家族等の信頼関係に一層努めていきたい。

## 職 員 構 成 表

H28.3.31現在

職 種	常勤	兼務	非常勤		常勤	兼務	職務内容
管 理 者	1			男 女	1		事業所を管理統括する。
介護支援専門員	2	1	1	男 女	2	1	ケアプランの作成等
総 数	3	1	1	男 女	0 3	0 1	

### 1.相談者(対象者)月別延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	416	333	325	354	343	288	311	260	289	298	286	336	3,839

### 2.認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	9	5	9	9	11	10	11	12	6	13	14	14	123

### 3.居宅介護支援費介護度別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
要支援2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
要介護1	40	44	42	43	41	43	44	44	48	49	48	46	532
要介護2	44	47	46	46	46	47	43	42	41	40	38	40	520
要介護3	19	21	18	16	16	16	16	16	19	18	15	12	202
要介護4	13	13	15	14	15	16	17	19	19	17	15	15	188
要介護5	4	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	6	34
	122	130	126	122	121	125	123	124	130	128	120	120	1,491

### 6.サービス担当者会議開催件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	18	10	18	10	10	13	18	18	20	17	10	10	172

### 7.職員研修参加状況

月 日	研修主催	研修名	参加人数
5月2.12 13.26.27日	青森県介護支援 専門員協会	青森県介護支援専門員実務従事者基礎研修	1
6月1日	青森市健康福祉部 介護保険課	平成27年度認定調査従事者新任研修	1
6月12日	居宅介護支援事業所 内部研修	訪問介護の報酬算定のグレーゾーンについて 正しい知識を習得する。	3(1)
6月18日	地域包括支援センター 主任介護支援専門員部会	ケアマネサロン「介護報酬改定について」	3(1)
9月8日	居宅介護支援事業所 内部研修	療養食加算についての正しい知識を習得する。	3(1)
9月 11.12.13日	青森県地域包括・在宅介 護支援センター協議会	第39回日本自殺予防学会総会	3(1)
10月7日	居宅介護支援事業所 内部研修	リンパマッサージについて 正しい知識を習得する	3(1)
10月13日	青森県 社会福祉協議会	「死に寄り添うターミナルケアのために」 ～臨床心理の視点から～	1
10月30日	青森県 社会福祉協議会	平成27年度権利擁護・成年後見制度セミナー	1
11月2日	介護・福祉フェア in あおもり実行委員会	介護・福祉フェア in あおもり 2015	3(1)
11月7日	青森市医師会	在宅医療・介護連携推進事業「包括ケアの実現に向けた大田区での他職種 連携 みま～もの取組」「かかりつけ医が行う在宅医療」	1
11月14日	青森県老人福祉協会	認知症 BPSD 改善に関する研修会	1
11月18日	日本介護支援専門員、全国デイ・ケア協 会、日本訪問介護協会	自立支援のためのケアプランと 訪問・通所リハビリテーションの役割について	1(1)
11月20日	青森地域介護支援専 門員連絡協議会	大腿骨頸部骨折のプランについて ～リハビリテーションの支援から～	2
11月20日	青森県立つくしが丘病院 認知症疾患医療センター	平成27年度認知症疾患医療センター研修会	1
11月28日	一般財団法人 青森市医師会	在宅医療市民講座「安心できる家での療養成果いつに向けて」「褥瘡の予 防」「自宅で迎える「平穏死」～在宅医療、緩和ケアを考えよう～」	1
12月2日	青森市健康福祉部 高齢者支援課	青森認知症オレンジネットミーティング	1
12月10日	青森市健康福祉部 介護保険課	認定調査従事者現認研修	2(1)
12月10日	青森県 社会福祉協議会	福祉用具を用いた生活支援	1
12月10日	青森県 社会福祉協議会	平成27年度第1回福祉用具・住宅改修研修会	1
12月22日	青森市健康福祉部 高齢者支援課	平成27年度青森市包括支援センター連絡会	2
12月24日	居宅介護支援事業所 内部研修	自己覚知を深める事により、 対人援助職として知識を習得する。	3(1)
1月13日	居宅介護支援事業所 内部研修	訪問看護について正しい知識を習得する	3(1)

( )内は兼務職員の人数

月 日	研修主催	研修名	参加人数
1月25日	青森県 社会福祉協議会	平成27年度第2回福祉用具・住宅改修研修会	1
1月28日	じけいかい居宅 介護支援事業所	課題整理総括表の活用について 正しい知識を習得する	3(2)
2月2日	青森市地域 包括支援センター	主任介護支援専門員部会研修会	1
2月4日	青森県健康福祉部 高齢福祉保健課	新しい総合事業における移行戦略ポイント解説	1
2月10日	青森県地域包括・在宅介護 支援センター協議会	平成27年度青森県介護予防支援従事者研修会	1
2月17日	青森県立保健大学 地域連携推進課	第9回 セーフティネットフォーラム 「地域で暮らす生活困窮者への支援」について	1
2月27日	青森県医師会	組織的ゲートキーパー育成事業(自殺対策のため の地域の支援事業)に係る研修	1
3月16日	青森市域介護支援 専門員連絡協議会	課題整理総括表及び評価表について	3(1)
3月23日	青森県歯科医師会	他職種協働により在宅医療専門研修会	2(1)
1月20日・2月24 日・3月9.15日	青森県介護支援 専門員協会	青森県介護支援専門員地域同行型研修	1

( )内は兼務職員の人数

## ケアハウス鶴ヶ丘

- ・ 利用者が介護予防を意識的に捉えられるよう計画したが、高齢化・重度化が進み予防より援助することに重点を置いた。毎日のラジオ体操の後に、理学療法士から指導を受けた転倒予防体操を行う事で、身体機能が維持できるよう努めた。

### 職員構成表

H28.3.31現在

職種	常勤	非常勤		常勤	非常勤	職務内容
施設長	1		男 女	1		施設を管理統括する。
生活相談員	1		男 女	1		相談業務・各事業所との連絡調整、助言を行う。
介護職員	1		男 女	1		処遇方針・年間行事に基づき、支援・助言する。
栄養士	1		男 女	1		献立作成・栄養摂取量の計算等や給食業務全般の管理に当たる。
用務員	1		男 女	1		清掃・営繕・燃料の管理・雑作業・運転業務を行う。
宿直員		2	男 女		2	宿直業務を行う。
総数	5	2	男 女	1 4	2	

#### 《生活相談員》

利用者ニーズの把握

- ・ 利用者との話し合いの場や普段の利用者とのコミュニケーションを通し、利用者の意向を把握し、快適に生活できるよう努めた。

連絡調整の徹底

- ・ 利用者に変化があった際は介護職員と連携し、家族や担当ケアマネージャーへの報告するよう努めたが、連絡・報告が遅れることもあった為、今後は速やかに行うことで、情報共有が図れるよう努めていきたい。

入所者・待機者確保

- ・ 地域包括支援センター・市役等へ広報活動を行った結果、問い合わせが増えたが、入所や待機者確保には繋がらないケースが多かった。また、問い合わせは、介護が必要な方が多く、新たな課題が残された。

#### 《介護》

利用者のニーズに応える支援

- ・ 処遇会議前に生活に対しての不便さ、施設への希望を利用者と話し合い改善策を考えて対応しているが、遠慮があるのか希望等を言えない利用者も多い為、利用者とのコミュニケーションを多くとることで、話しやすい環境作りに努めた。

日常生活の充実

- ・ 余暇活動への参加者は固定されているが、新しく入った利用者の参加も見られている為、今後も参加を働きかけていきたい。また、ラジオ体操後の脳トレに、お部屋で過ごすことが多い利用者に声掛けし参加を勧めることで、脳トレ問題終了後コーヒーを飲みながら、利用者同士で会話する姿も見られている為、今後も継続していきたい。

#### 《給食》

利用者のニーズをつかむ

- ・ 嗜好調査を実施し、今後の食事作り、利用者への対応、メニュー作りの参考にした。
- ・ 衛生点検表の記入により、調理員の健康状態、食材や調理した者の衛生管理を実施。厨房内、



- 器具、設備の整理整頓をし、食中毒予防に努めた。
- 誕生会には、利用者にテーブル毎に食べたいメニューを提供し、旬の食材を使用し季節感を味わって貰った。
- 生活習慣病の予防
  - 糖尿病者に食事の取り方、間食について助言するがあまり受け入れてもらえなかった。
  - ノロウイルス予防の為居室への持ち帰り禁止、利用者同士の食べ物のやり取りをしないように指導した。

《営繕》

- 経年に伴う保守管理
  - 施設設備・建物・機械等の経年による劣化がみられ、修理・交換等を実施した。共用部分のエアコンの故障が目立ち、ガスストーブ等を利用することで、利用者に寒い思いをさせないように努めた。

面 会 状 況 調

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
160	143	123	117	129	83	99	119	106	107	73	85	1,344

1日平均 3.6人

施 設 利 用 状 況 調

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

市町村		青森市	弘前市	八戸市	神奈川県	三沢市	六ヶ所村	合計		
										事項
前年度末	男	4	0	0	0	0	0	4	退所人員 10人 内 { 家庭復帰 2人 他施設へ 3人 長期入院 3人 死亡 2人	
	女	23	1	0	0	0	0	24		
	計	27	1	0	0	0	0	28		
本年度中	入所人員	男	2	0	0	0	0	2		
		女	5	0	1	0	1	1		8
		計	2	0	1	0	1	1		10
	退所人員	男	2	0	0	0	0	0		2
		女	8	0	0	0	0	0		8
		計	10	0	0	0	0	0		10
本年度末	男	4	0	0	0	0	0	4		
	女	20	1	1	1	0	0	23		
	計	24	1	1	1	0	0	27		

### 利用者在苑期間調

H28.3.31現在

範囲 性別	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上	計
男	2	1	0	1	0	4
女	5	10	2	4	2	23
計	7	11	2	5	2	27

平均在苑期間 3年5ヶ月  
 男 2年6ヶ月  
 女 3年7ヶ月  
 最長在苑期間 男 7年0ヶ月  
 女 10年5ヶ月

### 利用者年齢階層調

平均年齢 83.5歳  
 平均年齢 男子 81.7歳 最高 88歳 最低 77歳  
 女子 84.0歳 最高 96歳 最低 71歳

H28.3.31現在

性別人数 年齢階層	男・人	比 率	女・人	比 率	計・人	比 率
65歳未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
65～69歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
70～74歳	0	0.0	2	9.1	2	7.4
75～79歳	2	40.0	5	22.7	7	25.9
80～84歳	2	40.0	6	27.3	8	29.6
85～89歳	1	20.0	5	22.7	6	22.2
90～94歳	0	0.0	3	13.6	3	11.1
95～99歳	0	0.0	1	4.5	1	3.7
100歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	5 人	100 %	22 人	100 %	27 人	100 %

### 利用者介護度

H28.3.31現在

介護度	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	計
人数	11	1	7	8	0	27

利用者通院・入院・訪問診療受診状況

月	区分	男	女	計	月	区分	男	女	計	
4	入院	0	0	0	10	入院	0	1	1	
	通院	14	55	69		通院	5	48	53	
	通院送迎	1	9	10		通院送迎	2	9	11	
	往診	0	0	0		往診	0	0	0	
5	入院	0	1	1	11	入院	0	0	0	
	通院	6	50	56		通院	5	46	51	
	通院送迎	0	10	10		通院送迎	2	8	10	
	往診	0	0	0		往診	0	0	0	
6	入院	0	0	0	12	入院	0	1	1	
	通院	5	49	54		通院	5	57	62	
	通院送迎	2	11	13		通院送迎	0	13	13	
	往診	0	0	0		往診	0	0	0	
7	入院	1	1	2	1	入院	0	2	2	
	通院	15	42	57		通院	6	48	54	
	通院送迎	2	10	12		通院送迎	1	7	8	
	往診	0	0	0		往診	0	0	0	
8	入院	1	2	3	2	入院	1	2	3	
	通院	7	36	43		通院	6	49	55	
	通院送迎	1	11	12		通院送迎	2	7	9	
	往診	0	0	0		往診	0	0	0	
9	入院	0	1	1	3	入院	1	2	3	
	通院	7	45	52		通院	3	48	51	
	通院送迎	1	5	6		通院送迎	0	7	7	
	往診	0	0	0		往診	0	0	0	
						計	入院延べ人数	4	13	17
						通院	84	573	657	
						通院送迎	14	107	121	
						往診	0	0	0	

## 行 事 実 施 状 況

	実施日	場 所 時 間	参加人数(人)		
			利用者	ボランティア他	計
遠足 ショッピング	4月17日(金)	弘前植物園 8:55~14:15	7	0	7
花見	5月7日(木)	野木和公園 11:10~12:50	19	0	19
母の日	5月12日(火)	食堂ホール 11:40~12:25	28	0	28
父の日	6月11日(木)	食堂ホール 11:15~12:25	27	0	27
イベント見学	6月18日(木)	鯉艸郷 9:00~15:00	5	0	5
七夕	7月7日(火)	食堂ホール 11:20~12:20	29	0	29
鶴ヶ丘苑夏祭り	7月12日(日)	鶴ヶ丘苑 10:20~13:10	12	0	12
花火大会	8月6日(木)	正面玄関 18:45~19:15	24	0	24
敬老会	9月15日(火)	食堂ホール 11:10~12:30	26	0	26
十五夜	9月27日(日)	娯楽室 17:00~18:00	10	0	10
紅葉狩り	10月6日(火)	城ヶ倉方面 9:00~13:50	14	0	14
油川市民センター祭	10月11日(土) ~10月12日(日)	油川市民センター 9:30~16:00	16	0	16
ゲーム大会	11月24日(火)	食堂ホール 9:45~12:30	28	1	29
クリスマス会	12月17日(木)	食堂ホール 11:25~12:35	29	0	29
餅つき	11月24日(水)	青森県立郷土館 12:50~15:50	26	0	26
年越し	12月31日(木)	食堂ホール 夕食時	30	0	30
初詣	1月8日(金)	八十八か所、善知鳥神社 9:30~11:25	12	0	12
正月行事	1月1日(土) ~1月3日(月)	食堂ホール 14:00~15:00	33	0	33
新年会	1月21日(水)	食堂ホール 11:20~12:50	29	0	29
節分	2月3日(水)	各階居室 10:55~11:25	26	0	26
ひな祭り	3月3日(木)	食堂ホール 11:40~12:15	25	0	25
外食行事	3月22日(火)	あじ菜 11:00~13:00	13	0	13

## レクリエーション・クラブ活動参加状況

クラブ(手芸・工作・習字・花札・トランプ・フラワー教室・カラオケ他)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	6	10	8	7	12	9	13	7	3	7	1	1	84	8.1人
女	47	61	55	53	45	49	33	33	34	32	31	11	484	回数
計	53	71	63	60	57	58	46	40	37	39	32	12	568	70

大相撲

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	0	60	0	60	0	45	0	45	0	45	0	30	285	11.0人
女	0	156	0	135	0	120	0	120	0	105	0	60	696	回数
計	0	216	0	195	0	165	0	165	0	150	0	90	981	90

レクリエーション(卓球・ゲートボール・頭の体操他)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	1	2	1	1	5	3	4	4	2	5	2	2	32	9.1人
女	26	34	38	16	40	25	11	55	42	49	29	23	388	回数
計	27	36	39	17	45	28	15	59	44	54	31	25	420	46

ラジオ体操

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	68	95	91	104	91	95	94	89	93	90	68	81	1,059	18.8人
女	480	510	524	503	460	455	445	490	518	507	473	470	5,835	回数
計	548	605	615	607	551	550	539	579	611	597	541	551	6,894	366

茶話会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	5	14	10	15	20	14	16	14	8	11	10	9	146	6.3人
女	54	82	63	88	107	66	66	69	98	104	65	72	934	回数
計	59	96	73	103	127	80	82	83	106	115	75	81	1,080	94

ショッピング

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3	1	2	29	8.1人
女	11	13	12	13	12	13	14	14	13	12	12	11	150	回数
計	13	15	13	16	15	16	17	17	16	15	13	13	179	12

おやつ作り

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.8人
女	9	6	9	5	6	5	6	8	8	9	7	6	84	回数
計	9	6	9	5	6	5	6	8	8	9	7	6	84	11

畑・花作り・収穫・料理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.1人
女	0	11	3	8	13	8	0	42	0	0	0	0	85	回数
計	0	11	3	8	13	8	0	43	0	0	0	0	86	135

## 職 員 研 修 状 況

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

研修主催	研修内容			参加職種内容					
	研修名	期日	日数	施設長	相談員	介護員	栄養士	用務員	計
県老福協	H27年度軽費・ケアハウス関係者による県との意見交換会	自 H 27 . 5 . 15 至	1	1					1
地域包括支援センターのぎわ	制度改正における押さえておくべきポイント	自 H 27 . 5 . 22 至	1		1				1
地域包括支援センターのぎわ	事故・ヒヤリハットについて	自 H 27 . 10 . 22 至	1		1				1
中央消防署	防火管理者研修	自 H 27 . 2 . 18 至 19	2		1				1
青森市健康福祉部	H27年度介護サービス集団指導	自 H 27 . 3 . 18 至	1		1				1

## 施 設 管 理 実 施 状 況

実施月	実 施 内 容	
4 月	昇降機定期点検	害虫駆除
5 月	消防設備点検 避難訓練	浄化槽清掃 汲み取り
6 月	ボイラー点検 LP ガス設備点検	貯湯槽清掃消毒 車両車検
7 月	昇降機定期点検	害虫駆除 ばい煙検査 水質検査 受水槽清掃 レジオネラ検査
8 月	自動ドア点検	
9 月		
10 月	ボイラー点検 昇降機定期点検	ポンプ点検 害虫駆除
11 月	夜間想定避難訓練	浄化槽清掃 汲み取り 浄化槽法定検査
12 月		水質検査 レジオネラ検査 ばい煙検査 害虫駆除
1 月	昇降機定期点検	
2 月	自動ドア点検	害虫駆除
3 月		1 階・階段特別清掃

毎月実施・・・電気設備点検、浄化槽保守点検

平成 27 年度慰問・寄贈品の状況

寄贈品

自 H27.4.1 ~ 至 H28.3.31

月日	ご芳名	寄贈品
9月13日	日本たばこ産業	たばこ
9月29日	大澤 千恵子	ちぎり絵作品